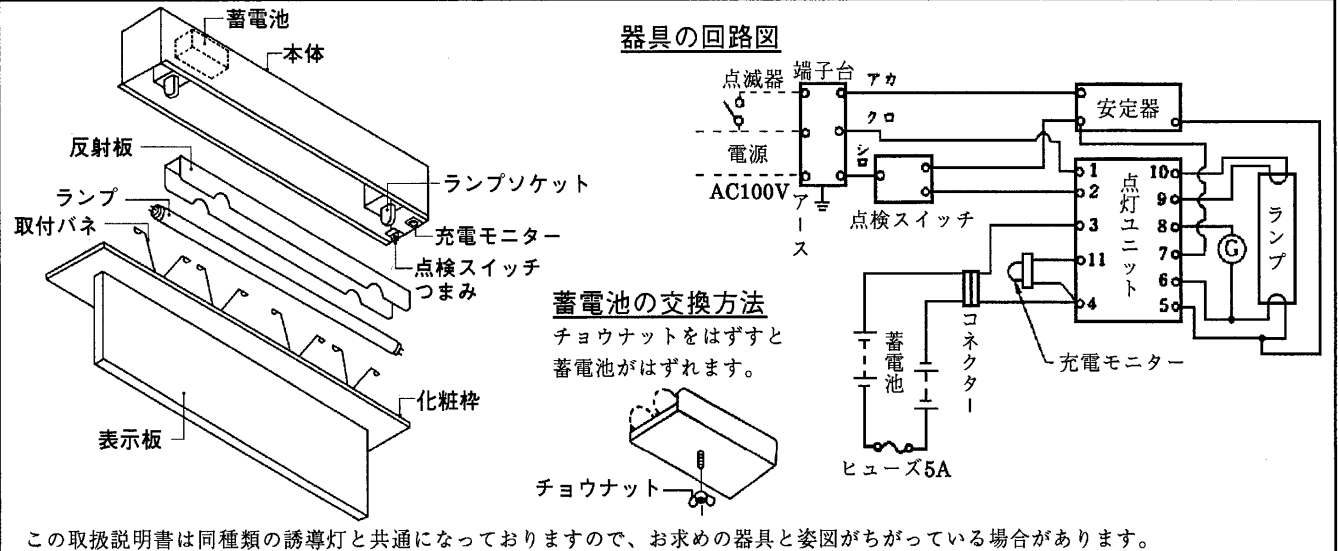


このたびは東芝避難口誘導灯・東芝室内通路誘導灯をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの誘導灯を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

充電モニター
(充電表示灯) 付

対象器種	FBK-3109 (公共施設) SH1-FRF10P-351 FBK-3110	FBK-4109 FBK-4110
適合ランプ	東芝蛍光ランプ メロウ5 35ワット形 (FL35SS・EX-N-H)	東芝蛍光ランプ メロウ5 40ワット形 (FL40S・EX-N-H)
適合スタータ	FG-4P	
蓄電池	3・2NR-CH-LE	2・3NR-CH-LE

■各部のなまえ



この取扱説明書は同種類の誘導灯と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

■施工上のご注意

- ① 器具には電源周波数が50ヘルツ(Hz)用と60ヘルツ(Hz)用の区別があります。地域の周波数にあった器具をご使用ください。まちがえてご使用になりますとランプの寿命が短くなったり、過熱して焼損などのものになります。
- ② 湯気の直接当たる場所や湿気の多い場所では、使用しないでください。
- ③ 必ずアースを取り付けてください。アースは法により第3種接地工事が必要です。
- ④ この器具の電源は昼夜連続給電してください。
- ⑤ 点検スイッチの引きひもを引きますと、非常電源に切り替わり、非常点灯を確認できます。
- ⑥ この器具は、屋内専用で5℃～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。取り付けの際は、ご注意ください。
- ⑦ この器具の定格電圧を確認し、電源電圧がこれに近く、変動の少ないことを確かめてください。
- ⑧ この器具は天井などの丈夫な所に取り付けてください。薄い天井板などに取り付けますと、ねじ止めが弱く、点検スイッチを強くひっぱったときや振動などで器具が落下するものになります。
- ⑨ 器具は慎重に調整されています。取り付けの際、衝撃を与えたり、内部の改造をしたり、ランプ及び蓄電池以外の部品の交換は、絶対におやめください。
- ⑩ この器具は蓄電池を内蔵しています。電源を通電しないまま、蓄電池のコネクターをつないで放置すると過放電状態になりますので、おやめください。
- ⑪ この器具を試験する場合、内蔵蓄電池が放電している場合があるため、あらかじめ、24時間以上充電してください。
- ⑫ 工事が終了してから、使用開始されるまで時間がある場合は、消灯するまで蓄電池を放電させてください。その後、蓄電池のコネクターをはずし、保存してください。

お客様へ

この器具の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。一般の方の工事は法で禁じられております。

工事店様へ

工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様にお渡しください。

東芝誘導灯点検カード

点検責任者

設置 年 月 日 設置場所

点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者	点検年月日	点検箇所(チェック)	点検者
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	
・ ・	外観 切替 性能		・ ・	外観 切替 性能	

充電モニター の保守、点検方法

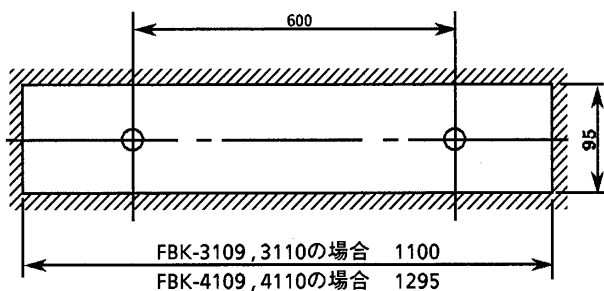
- ① 充電モニターが点灯しているかどうか確認してください。
- ② 充電モニターが消灯している時は蓄電池が充電されていません。蓄電池のコネクターははずれ、平常電源の開放がないか確認してください。
- ③ 充電モニターが点灯しない原因がわからない時には、お買い求め先、または最寄りの東芝お客様ご相談センターにご連絡ください。

■器具の取り付けかた

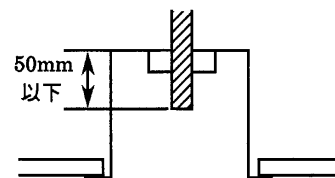
1 器具の取り付け寸法

(単位mm)

埋込穴をあけ、そのまわりに野縁を組み込んでください。



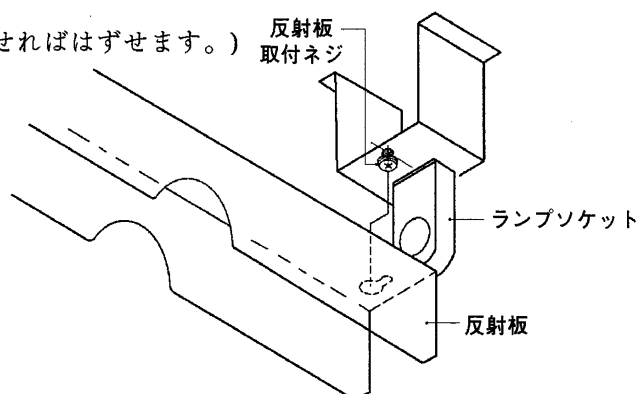
2 器具吊りボルトの埋込寸法



注) 反射板取付の為、ボルトの出しろは器具内50mm以下にしてください。

3 器具の本体の取り付け

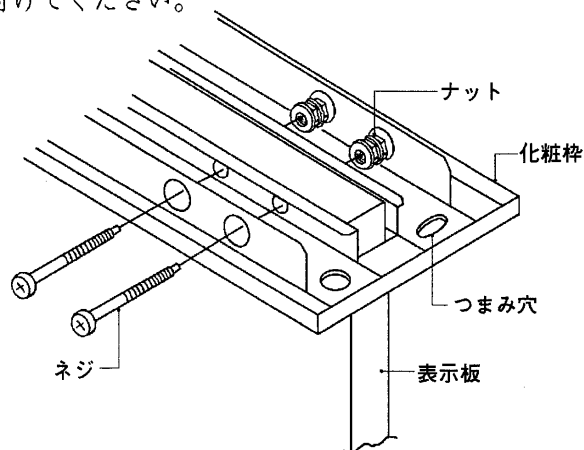
- ① この器具は吊りボルト専用器具ですので、あらかじめ、吊りボルト・ナットを用意してください。
- ② 天井に指定の寸法で埋込穴をあけてください。
- ③ 吊りボルトを指定の寸法で取り付けてください。
- ④ 本体より化粧枠を取りはずしてください。
- ⑤ 本体よりランプを取りはずしてください。
- ⑥ 本体より反射板を取りはずしてください。
(反射板は、反射板取付ネジをゆるめてスライドさせればはずせます。)



- ⑦ 本体の電源穴から電源線を引き込み、端子台に接続してください。
- ⑧ 本体の吊りボルト用取付穴と吊りボルトの位置を合わせ、本体を埋込穴に押し込みナットでしっかりと固定してください。
- ⑨ 電源を通电してください。通电後に蓄電池のコネクターを接続してください。



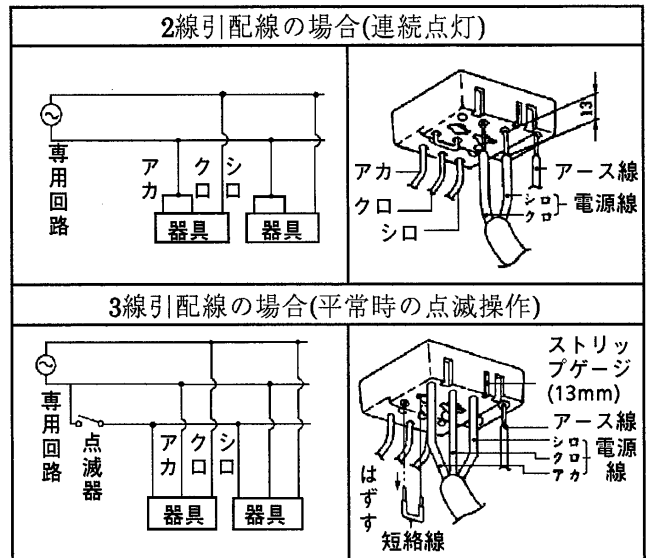
- ⑩ 反射板とランプを取り付けてください。
- ⑪ 化粧枠に表示板(別売)を付属のネジとナット2個で取り付けてください。
(化粧枠は表示板の上側から挿入してください。)



- ⑫ 表示板を取り付けた化粧枠を取付バネで本体に取り付けてください。
(点検スイッチのつまみが化粧枠のつまみ穴から出ていることを確認してください。)

■配線方法

- 電源は必ず単相2線から配線してください。単相3線・3相3線からの配線は部品を焼損することがあります。
- 電源回路は必ず分電盤からの専用回路とし、分電盤と器具の間には点滅器を設けないでください。
- 配線方法は、原則として2線引配線です。3線引配線を行う場合には、所轄の消防署の了解を得てください。



■仕様

形名		FBK-3109 FBK-3110	FBK-4109 FBK-4110
平常時	電源	交流50Hz または 60Hz 100V	
	入力電流	0.88A	0.89A
	消費電力	49W	50W
	光源	FL35SS・EX-N-H×1	FL40S・EX-N-H×1
非常時	電源	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 3・2NR-CH-LE 6V 2300mAh	密閉形 Ni-Cd 蓄電池 2・3NR-CH-LE 7.2V 2300mAh
	光源	FL35SS・EX-N-H×1	FL40S・EX-N-H×1
※重量		13.0Kg	15.5Kg

※記載重量は誘導灯用表示板(別売)を含めた器具重量です。

■保守と点検のお願い

- ① 三ヶ月に一回、定期的に非常点灯を行い点検カードにその結果を記入してください。
(下の点検カードを切り取って使用してください。)
- ② 定期点検の際の性能確認で点灯持続時間が20分以下の場合には、内蔵の蓄電池を交換してください。交換蓄電池は、35W用:3-2NR-CH-LE,40W用:2-3NR-CH-LEです。
指定以外の蓄電池の使用及び、加工などは絶対におやめください。
また、交換の際は必ず、コネクタをはずして交換してください。リード線を切断したりすると蓄電池を損傷させることがあります。
また、器具の交換等で器具を処分する際には蓄電池は器具より取り外してください。使用済の蓄電池は捨てないで、お買い求め先またはお近くの東芝お客様ご相談センターにお渡しください。
- ③ ランプの端部が黒ずんだり、暗くなった時は、床面の必要な明るさが確保できないことがありますので、早めに交換してください。
- ④ ランプ交換の際には、東芝蛍光ランプ メロウ5 35ワット(FL35SS-EX-N-H),40ワット(FL40S-EX-N-H)とご指定ください。
- ⑤ ランプ及び蓄電池以外の部品の交換は絶対におやめください。
- ⑥ ランプ交換の際は、必ず電源を切ってください。
- ⑦ 点灯装置の改造、部品の追加は絶対におやめください。
- ⑧ 蓄電池のヒューズ交換の際には、定格5Aを使用してください。
- ⑨ 長時間使用しないときは、消灯するまで蓄電池を放電させてください。
その後、蓄電池のコネクタをはずし、保存してください。
- ⑩ 点灯装置の動作不良が生じた場合は、新しい器具と交換してください。

■お手入れのしかた

- ① 器具のお手入れは、必ず蓄電池のコネクタをはずし、平常電源を切ってから行なってください。
- ② 器具が汚れたときは、やわらかい布をせっけん水に浸し、よくしぼってからふきとってください。
- ③ ガソリンやシンナー、ベンジンなどの薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変質、変色の原因となります。
- ④ 金属部分をクレンザーやたわしでみがかないでください。傷つけたり、腐食の原因となります。
- ⑤ ランプは取りはずしてから乾いた布でふいてください。

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、蓄電池についているコネクタを取りはずしてから平常電源を切って、お買いあげの販売店(工事店) またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。
なお、ご相談されるときは器具の形名およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

東芝ライテック株式会社 施設・HID事業部 〒140 東京都品川区南品川2-2-13 (南品川JNビル) TEL(03)5463-8768

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

(001E400)D

点検のポイント

- ① 外観チェック
(1)充電モニターが点灯していますか。
(2)光源、表示板などは汚れていませんか。
- ② 切替動作チェック
点検スイッチを引いてください。
非常点灯に切り替わりますか。
- ③ 性能チェック
点灯持続時間
非常点灯切替後20分間点灯が持続しますか。

注意事項

- ① 電源は昼夜連続給電願います。
- ② 3ヶ月に1度は定期的に点検し、点検カードに記録願います。
- ③ 点灯持続時間のチェックを行ない、性能が満足しないときは器具に内蔵されている同一形名の蓄電池と交換してください。
※交換した古い蓄電池はすてないで
お買い求め先または最寄りの東芝お客様ご相談センターにお渡しください。
- ④ 万が一うまく動作しない場合、原因がわからない時にはお買い求め先または最寄りの東芝お客様ご相談センターにご連絡ください。